

総持寺と私 (No2)

わが子の成長の過程で、かつて自分が陥ったと同じ過ち(いたずら)に気づくことがあります。心の中で苦笑いをしながら諫めることもあれば、「まあいいか」で自分の過去といっしょに水に流すこともあります。

ところで当時の(私の)小学校での図工の時間はと言えば天気良ければほとんどが写生でした。さらに写生場所は総持寺境内にほぼ固定していました。教師にしてみれば比較的管理が容易で安心して外に出せる場所だったのでしょう。しかし、私にしてみれば総持寺とくれば「わが家の庭」＝「恰好の自由時間？」でした。友だち数人で白字橋の欄干でまず準備体操として「だるまさんが転んだ」をしました。

ある日の写生の時間、準備運動中この白字橋の標柱の文字がくすんでいることに気がつきました。傍らにはちゃんと水彩絵の具があるではありませんか。これはもう修復するしかありません。白い絵の具をパレットに出して、真剣に字をなぞって修復をしました。写生は下手でしたが修復作業は自分でも満足のいく作品に仕上がりました。残念ながら水彩ですので数日後の雨ですぐ元通りになってしまいました。



さて、わが子も私の母校の小学校にお世話になりました。中学年だったでしょうか。こともあろうにこの白字橋の標柱を図工の時間に黄色のクレヨンで塗った…というお話を通知表渡しの折りに担任の先生からお聞きしました。恥ずかしいやら情けないやら。

バカ！塗るなら『白』だろ。

私も娘も総持寺に育てられました。合掌。